

アムステルダム～ウィーン 鉄道の旅

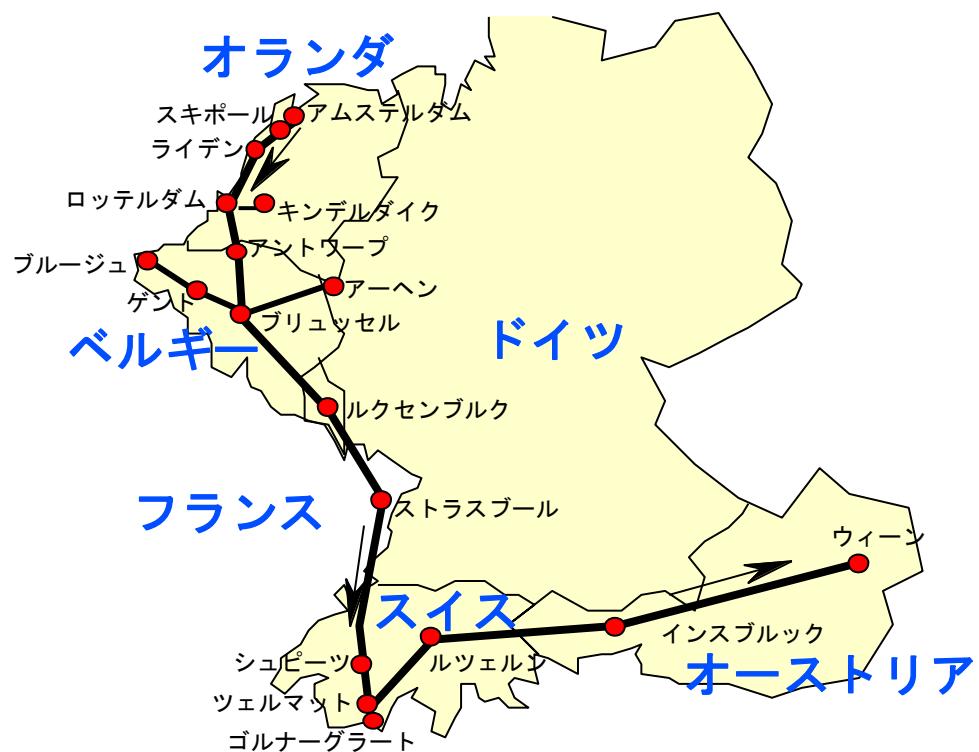
2008. 8/25 ~ 9/12

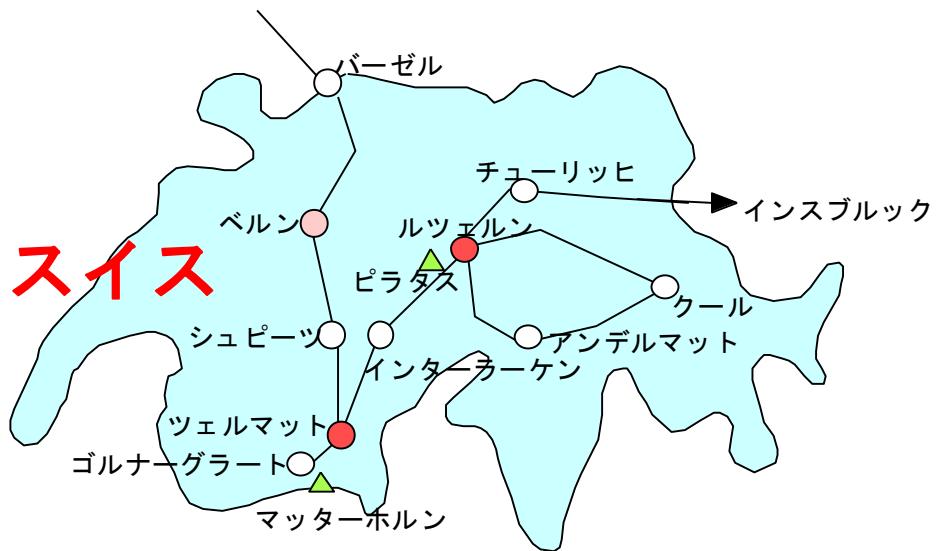


オランダ国鉄（アムステルダム）



オーストリア国鉄（インスブルック）





ツェルマット→ゴルナーグラート間

アムステルダム～ウィーン 鉄道の旅

2008. 8/25～9/12

8/25 (月) 雨

自宅 6時10分発 車で成田空港付近のサンパーキングへ
サンパーキングのマイクロバスで空港へ

成田空港 12時45分発 (定刻離陸) JAL

十分余裕を持って家を出たつもりだったが、雨が降っていたのと月曜日ということもあったのか、いつもより、成田まで時間がかかった。

英国航空(BA)の所に行くともうすでに多くの人が並んでいた。

ところが、BAのブッキングミスにより、JALに変更された。アムステルダム直行便となり、さらにBAのミスなので、おわびとして、125ポンドのプリペイドカードを2人分をもらった。アムステルダムには予定よりずっと早く着いて、しかも機内は空いていた。ラッキーなスタートとなった。



いたずら書きのされた電車（左側）



アムステルダム中央駅

アムステルダム スキポール空港から中央駅まで電車で(4,3ユーロ)。それにもしても、入ってきた電車の型が古いのには驚いた。また、外側が薄汚れた感じだし。洗車しないのかなあ。

そこから、トラム(1.6ユーロ)に乗り、ムントで降りる。何番に乗るかは、そばにいた係りのおじさんが教えてくれた。18時30分ホテル着。本来なら、22時頃のはずだった。明るいうちに着くことができた。



アムステルダムのトラム



トラムの中



ホテルの部屋から見た町並み



国立美術館

8 / 26 (火) 曇り

まず、ユーレイルパスの使用開始の日付刻印をして貰う（日本でもしてもらえるがその手数料500円を節約）のとトライムの回数券を買うため、中央駅まで歩く。途中で、インフォをみつけたので、聞いてみるとその入口のキオスクのようなところで、買うようにいわれる。中央駅のサービスセンターで、明日から使うバスの日付を入れて貰う。アムステルダムの駅舎は、東京駅のモデルとなったそうだが、スケールはずっと大きい。赤レンガで、外は綺麗だが中はそうでもない。駅前は、工事中。



国立美術館



伦勃朗の夜警



トライム2、5番に乗って、ホーベンマストラートへ 国立美術館（10ユーロ）では伦勃朗の<夜警>、ゴッホ美術館（12.5ユーロ）では、<ひまわり>、<自画像>をみた。この辺りは広々とした公園になっている。トライムで、ダム広場まで戻り、オランダ随一の高級デパート<バイエンコルフ>の向かいにあるホテル<アムステルダム>の1階にあるレストランでサラダ、チーズ、クロケット。7～8分歩いて<アンネの家>（7.5ユーロ）へ。行列ができていた。またまた15分歩いて中央駅までもどり、キャナルクルーズすることにする。1時間11ユーロで、4時5分前の船に乗れる。トライムでホテルに戻る途中、花屋さんが並んでいるお店に寄る。周辺の家と家は、くっついており、所々、家が道路に対して、前にあるいは横に傾いている。



レストランの窓から、向かいが高級デパート



キャナルクルーズ



シンゲル運河沿いの花屋さん チューリップなどの球根が沢山陳列されている



アンネの家（入り口は行列ができていた）



アンネの家の前の運河

ダム広場の王宮





ローバーダイエン駅に止まっていた IC



ローバーダイエンのバス停
(キンデルダイク行き)

8／27 (水) 曇り

IC

アムステルダム中央駅 → ロッテルダム中央駅 → ローバーダイエン
7時59分発 9時2分着 9時5分発 9時14分着

7時10分出発。90番のバスは、行ったばかり。20分ほど待ってきたけれど、運転手さんに「これは、キンデルダイクまでは行かない、もう30分待て」といわれる。結局何もない駅で、さらに待つことになった。駅構内で、無人の有料トイレに入る、水が流れないで、どうしたものかと困っていると、おじさんが、ドアを閉めれば流れると言う。バス停に戻ると日本人らしき女の子2人がいたので、聞いてみると同じところに行くと言う。よかったです。ただ、日本人と思ったのは、間違いで、香港から来た中国人だった。綺麗な住宅街を通り、40分ぐらい乗っただろうか。2人が「ここで降りる」と言う。教えてもらってよかったです。乗り過ごしていたかもしれない。帰りのバスの時間を確認して（1時間に1本ぐらいしかないのだから）風車のあるところまで歩いた。1つの風車の中は見学できる。さらに見学者がふえたせいか布を張って、羽をうごかしてくれた。帰りは、予定していなかったが、シーボルトが、晩年を過ごしたライデンに寄ってみることにした。



キンデルダイクの風車群 天気が悪く 少し寒かった



来たバスがロッテルダム行きただったので、そこまで乗っていくことにした。終点で降りたら、中央駅ではなく、さらにそこから、電車に乗ることとなった。これは、回数券が使えるが3個分払うことになる。（トランは、2個分）新横浜に行こうと思っておりたら、北新横浜だったという感じかなあ。

ライデンはライデン大学があり、おちついた感じの学生の街。シーボルトハウスは、歩いて10分ぐらいいだろうか。ずいぶん沢山のものを日本から持っていっていることがわかる。日本地図もあった。



ライデンの町並み



シーボルト像

ホテルの部屋に戻ると赤いランプがついているのが気になり、フロントに電話すると。手紙が来ているといわれ、取りに行く。中身はブッキングコムからで、次に泊まるベルギーのホテに関するクレジットカードの確認の電話をいれてくれとのこと。エーーーー、英語で、電話?????大丈夫かなあ。夫には、心当たりがありました。ブッキングコムで、申し込んだ際、カードの期限が、実際、旅行に行く時には、期限切れになってしまふが、まだ新しいのが来ていないので、適当な期限をいれてしまったというのです。それで、仕方なく、ブリュッセルのホテルに電話しました。なんとか話は通じ、新しいカードの期限を言って、事なきを得ました。

8／28（木）

アムステルダム→ブリュッセルミディ(南)

8時56分発 11時45分着

駅を出て、びっくり、閑散としている上、きたないのだ。ホテル（アパートホテル ブリュッセルミディ）を探すが、なかなか見つからない。



グランプラス



ホテルの部屋



結局反対側に出てしまったことがわかり、ガードをくぐってぐるっとまわることになる。タクシーをつかまえるが、「500円ぐらいなのに、10ユーロ払うのかい」と言われる。仕方なく歩くが、まだみつからない。またまた、タクシーをつかまると「5分ほど歩けばよい」と言われる。有名な大きなホテルではないので、看板やら、案内がないのが、原因と思われる。やっとみつけたが、またまたがっくり。13時チェックインなので、20分ほど待たされる。さらにエレベーターは修理中で、スーツケースを持って階段を上がることになる。部屋は普通のお家にみたいに広い。風呂とトイレは別々で、食器はすべてそろっていて、食事をつくることも出来る。ここは、入ったら、チェックアウトするまで、一度も掃除には来なかった。一段落の後、電車に乗り、中央駅に行く。グランプラスはとてもきれいなところで、観光客もいっぱい。駅前のサン・ミッシェル大聖堂は、とてもきれいで大きい。アーケードのあるギャルリー・サン・チュベールは、ゴディバもあり、すばらしい。また、一番古いチョコレート屋さんノイハウスもあった。日本人の店員さんもいた。それにしても、駅にはゴミがおちているし、レンガはコンクリートがはがれ、むきだし、地下駅はとても暗く、電気の線もむきだしたけどちょっとがっかり。



ギャルリー・サン・チュベール



ノートルダム大寺院 中央祭壇



ルーベンス聖母被昇天



8／29（金）曇りのち晴れ

今日は、アントワープをめざす。

昨日はよくわからなかったミディの駅の様子が、少しあわかつてき。ホームは、2階にあり1階はスーパーや、食べるところ、衣料品のお店など、結構便利になっている。しかし一歩外でると何とうらぶれたところか。8時54分発のアントワープ行きに乗る。地下鉄の切符の買い方がわからず近くの女性に尋ねると、親切に教えてくれ、買っててくれた。ノートルダム大寺院は10時から、一人4ユーロだが、どういうわけか2人で、4ユーロだった。その前に「Japaneseか」ときかれたのが理由のようだ。<フランダースの犬>のお話で、有名にしたのは日本人だから？ルーベンスの<聖母被昇天>の絵は、やはりすばらしかった。ネロとパトラッシュのベンチはどうとうみつからなかつた。昼は、ミートボーレトマトソースがけ サラダ ポテトつき（8ユーロ）ステーキごはん(wok with steak)wokはriceといわれた。量は、それぞれ2人前ぐらいあつた。ミートボーレといつてもハンバーグぐらいのが2個。

5ユーロで市内をまわる3連バスに乗る40分ぐらいで、もどる。仏、独、英、蘭語？の順番で案内する。ルーベンスハウスを探し繁華街を歩く。（1歩入ったところにあった。）ブランド品の店、高級なお店が並ぶ。本日やっと不通だった携帯電話が開通した。



ノートルダム大寺院



ルーベンスハウス



アントワープ市内観光 3連バス内



アントワープ中央駅



アントワープの広場

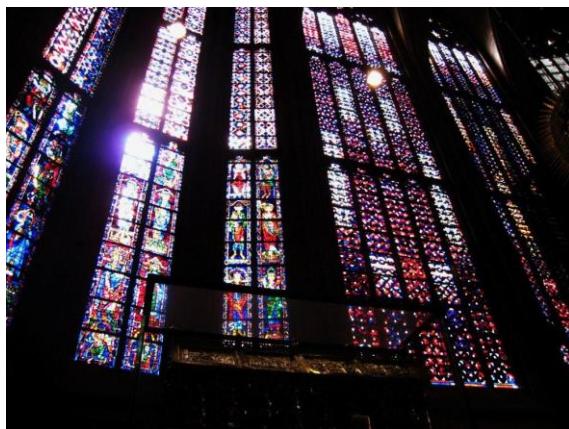
8／30（土）雨のち晴れ

ブリュッセルミディ → アーヘン

6時59分発 8時36分着

ここは、前回ドイツ旅行の時、行きそびれたところだ。カール大帝がフランク王国の首都として、晩年過ごしたところ。電車に乗っている間は、霧と雨で、着いたら晴れてきて、さらに気温は高くなった。久しぶりに夏らしい。帰りの電車を決めてなかったのでインフォで聞いてみる。タリスは、指定券500円とすごく高いのであきらめる。まず教会へ行ってみるが、13時からとあるので先に宝物館へ行くことにする。結婚式があったのだ。広場はマルクトが開かれ、とてもにぎやか。今日は土曜なのだ。グルグルまわってみるがみづからないのでインフォで聞いてみると、人が並んでいるところがあり、そこだった。一度通ったのだがその時は気が付かなかった。こういうことはよくある。日本のように親切に書いてくれてない。聖遺物に夫は感激。教会の中はフリーなのだが、玉座見学は有料で、13時からのを申し込む。ここへ（宝物館）集合と言われた。

それまでマグドナルドのようなところで昼食。時間を指定されたのが気になり、あわてて言ってみるともうすでに20人程集まっていて、先程受付にいたお兄さんが、English のガイドでした。つまり個人で勝手に行けないので。古い時代と新しい時代、モザイクとステンドグラス、今まで見たこともない教会でした。さらに上の階にいくと大理石の玉座がありました。1時間程見学して駅へ戻りました。やはりドイツの駅、町はとてもきれいでした。先程の店でドイツパンを買って帰りました。15時21分発、ICEでミディ（17時1分着）にもどったが、まだホテルに行くには早いので、<小便小僧>を見るにして、中央駅に行く。先程のドイツに比べるとブリュッセル中央駅はやはりきたないなあ。おまけに油断するとすぐ「お金くれ」と人が寄ってくるし。



アーヘン大聖堂



ドイツ鉄道 ICE の車内（いつも空いている）



宝物館入口



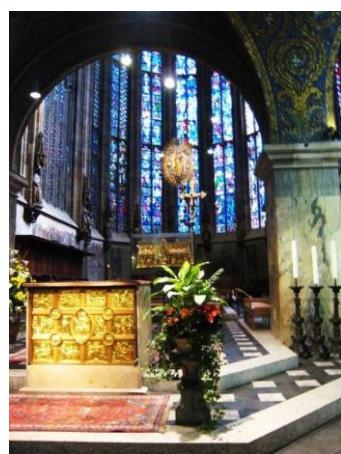
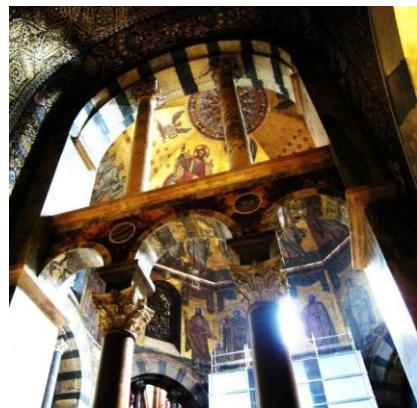
アーヘン大聖堂前の広場



キリスト聖遺物



カール大帝の玉座



アーヘン大聖堂の内部

8／31（日）晴れ

ブリュッセルミティ → ブリュージュへ

8時1分発

9時着

車窓はトウモロコシ畑（バイオエネルギーのせいいかなあ）と牧場が続く。1時間程で到着。駅前は閑散としているが、少し歩くと中世の町にタイムスリップしたようでとてもすばらしい。広場をめざす。運河をめぐる旅（6. 5ユーロ）10時半発の舟に乗った。とても気持ちよかったです。昼は少し駅の方向へもどった小さな広場で、おすすめメニュー17ユーロ。カレイのムニエル、じやがいものスープ、フライドポテト、サラダ。私はスナックミックス（サラミ、オリーブ、チーズ）。ビール大、小。これでももう充分量が多い。1人前プラス少しで、2人前が我々日本人にはちょうどいいみたい。1人ずつとつたら多すぎて。



町の教会：結婚式のために民族衣装を着た人々



ブルージュの町



運河を眺める犬（ガイドに写真をとるよういわれる）



ブルージュの運河クルーズ

駅へもどる。もう少しで駅というとき、夫が呼び止められる。「1人なので、自分をビデオでとってくれ」といわれ、対応しているとそこへ、背の高い男が「警官だ」といって警察手帳＜police＞と書いてある＞をみせて「英語は分かるか、今何をしていた？麻薬の密売があるから、ちょっと調べる、パスポートを見せろ」という。まずビデオの男が見せ、続いて夫が見せる。次に財布を見せろと言う。ビデオの男は、札束がいっぱい入った財布を見せます。＜エ———警察が財布を見せろというか？＞ピンときました。＜地球の歩き方の危険情報＞にありました。そっくりなのが。「お父さん、電車に乗り遅れる。急ごう」といってあわてて逃げました。ビデオの男も仲間のようです。おとりになって、安心させて、こちらの財布からお金を奪おうとしたようです。危機一髪だった。夫はこぼれ話や危険情報などを読むのは好きではないらしい。私はむしろそういうところが好きなのだが。駅で、ほっと、一安心で、コーヒーブレイク。



ブルージュ 小便小僧

ブリュージュ → ゲント

1時21分発 13時57分着

30分ほどで到着。ガード下のトラム1番から乗ると書いてある通りだった。切符の買い方は近くの女の子に教えてもらった。やっと分かった頃ベルギーともお別れなのだ。広場の先に聖バーフ教会はあった。<神の仔羊>の絵のところで団体さんの後ろでみていたら、その祭壇画を開けたり閉じたりするので、こんな大事なものさわっていいの？と思っていたら、これはレプリカだった。さらにもっと小さなレプリカもあった。本物を見るには3ユーロ払わねばならない。そこへ行くには、ちょっと説明が足りずよくみていないとわかりにくい。日本人のカップルも探していたようだったが、声をかけそびれた。外へ出て、ファン・ダイクの彫刻を見て、ティーブレイクの後トラムで駅へ。ゲント駅行きたったが、4番に乗ったら、すごく遠回りで、予定していた電車には乗れず、次の電車になってしまった。けれど市内観光したようでああよかったかな。駅で生のりんごとにんじんジュースを飲んだ。おいしかった。



ゲント：ファン・アイク兄弟の銅像
背後が聖バーフ大聖堂



聖バーフ大聖堂内の 祭壇画
中央部分：ファン・アイク兄弟の神の仔羊

9／1（月） 晴れ

ブリュッセル →ストラスブル

7時33分発 12時50分着

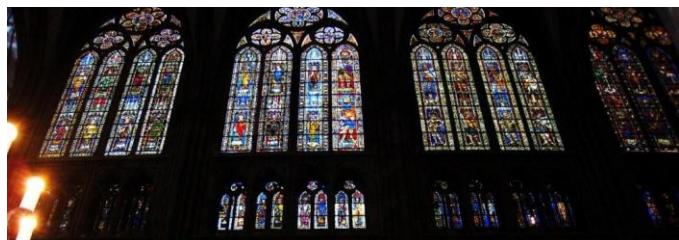
朝は、コーヒーと残っているワッフル少々で、その他の食べ物はきのうの内に整理。支払いは最初に済んでるので勝手に出る。鍵はブラックポストにいれる。ああやっとブリュッセル脱出。



駅のスーパーで、昼のサンドイッチと飲み物を買い、電車に乗った。ルクセンブルクを過ぎるまで割合ゆっくり走っていたので本当にこの電車でいいのかと心配になったが、そこをすぎると電車はスピードをあげ、約10分遅れでストラスブルに着いた。オランダ、ベルギーの電車は比較的時刻通りに発車、到着していたので、ここで初めて遅れたような気がする。その間検札3回。おそらく、ベルギー、ルクセンブルク、フランスの車掌さんと思われる。広々とした牧場、トウモロコシ畑が広がるのどかな風景が続いた。



ノートルダム聖堂前



ストラスブルの町並み

きれいな駅でした。タクシーでホテルへ。グーテンベルクホテル。あのグーテンベルクは10年ほどここストラスブルにいたそうで、その名前のついた広場と像もある。ホテルから歩いてすぐのところに広場、ノートルダム聖堂もある。大きな教会でステンドグラスがすばらしい。朝昼兼用だったので3時半頃、昼ご飯、カルパッチョの前菜、カルパッチョのステーキ、アイス3個、コーヒー付き、パン3個それにビール（オリーブ付き）とワイン半ボトル。コーヒーはセットについていただけなのだが、1人だけではと気をきかせて、もうひとつ持ってきててくれた。つまり、一人分プラス前菜。これで、2人十分過ぎるくらい。始め外のテーブルにいたけれど雨が降ってきたので中に入った。雨は30分ぐらいで止んだ。再び教会の周りをぐるっとまわってみると、3連のバス（1人5.4ユーロ）が停まっていて、5時に出発するというので乗ることにした。40分ぐらいで町を周る。プチットフランスにも寄つてくれた。



ツェルマットへ向かう途中の駅からの眺め



ツェルマットのホテル

9／2（火）晴れ

MGB 鉄道

ストラスブル → バーゼル → ベルン → フィスプ → ツェルマット
8時23分発 10時1分発 11時7分発 12時10分発 13時14分着

7時半出発、トラムで駅に向かう。乗り場と切符の買い方は、ホテルで教えてもらった。しかしながら旨く買えず、やっと1枚買って乗った。パンチするところがない。どうやら外にあったようだ。駅に着くと8時23分発は3本もあり、どれかよくわからない。近くで、新聞を売っていると思われるお兄さんに聞くと Bale 行きでいいといわれる。もう電車は来ていたので念のため車掌さん？にバーゼルにいかかと聞いてみたら、OK といわれた。9時39分到着予定だったが、10分遅れた。バーゼルの駅へ降りて初めてバーゼルと Bale が同じ駅だったとわかった。おそらくドイツ語とフランス語の違いと思われる。ここで、乗り換えるとなるのだが、10分歩くとだったので、国がかわると駅も離れていて、そんなに歩くのかと思っていたら、税関を通るようになっていたからだ。施設はまだそのまま残っていたが、無論今はそんなことはないので、すぐスイス側の駅に行けた。10時1分発ベルン行きに乗る。スイス鉄道はきれいでとても快適。11時7分発 VISP(フィスプ)行き(ホームの反対側)に乗り換えて、12時2分着。

ツェルマット行きは、向こう側のホームなので、スーツケースを押しながら、移動となるが、エレベーターはないが、スロープがあるので、持ち上げることはない。ゴロゴロ押していく。だいたい階段以外にスロープは必ずあるようだ。車いすの人も自分でスロープを通っていました。ここからは MGB 鉄道（氷河急行）となる。検札の車掌さんが来てユーレイルパスでは駄目と言われ、99 フラン（往復2人で）追加で支払った。単線なので、途中何度か反対から来る電車と駅ですれちがった。20分遅れで到着。ホテルは歩いて5分程、部屋は広くて、きれい。車はすべて電気自動車です。

夕方出かけると、ゴルナーグラート登山鉄道の駅の待合室で、日本人のツアー客に出会った。自由行動の後夕飯の待ち合わせだそうだ。今日はすばらしくよくマッターホルンが見えたそうで、「明日も大丈夫ですよ」といわれ、期待もふくらむ。その後ツェルマットの駅でも他のツアー客にあったけれど、こちらは明日のぼるそうで、我々と同じ。やはり日本人が多いなあ。



ツェルマットからのマッターホルン

9／3（水）曇り時々晴れのち雨のち曇り

8時24分発 ゴルナーグラート行きの登山電車に乗る。切符は＜往復＞を買った。日本人のツアー客が2組いたようです。

30分ほどで、到着。電車内は独、仏、英、日のアナウンス。



ゴルナーグラート駅



山の上のホテル

マッターホルン(MH)は雲がかかっているが、モンテローザがしばらくすると見えてきた。また、MHも東側が見えてきた。トイレはホテルの中のが使えた。3089mのところにきれいなホテルがあるので。お土産も売っている。中に居ると高い山の中にいることを忘れてしまいそうだ。



中央がモンテローザ右はリスカム



記念写真に納まるセントバーナード犬

池に写る MH の場所を探して、歩いて降りることにした。「電車から、みえた池がそうだ」と夫が言うので、それをめざしたが違っていた。最初の駅（ローテンボデン）を通過すると池が見えてきた。羊の放牧も見える。人も多くいるので、そこだとわかった。2時間ほど歩いて12時近く、リッフェルベルク駅に着く。日本人ツアーの人はここで、おにぎりを食べていた。昨日聞いていた人達とおなじだ。どうやらホテルでつくってくれるらしい。我々はというといやしいなあ。朝食のパンを余分を持ってきて、コーヒーも魔法瓶に入れて持ってきてそれで、お昼。そしてほとんどの人がここで帰って行った。駅にはトイレあります。きれいです。我々はまだ歩けそうなのでさらに歩いて下ることにした。



背後に雲がかかったマッターホルン



歩いて山を下る

しばらくは山肌を縫うように歩いて快適だったが、途中から、岩がごろごろの道となり、やがて登山鉄道の線路からも離れてしまい、何度かすべりそうになり、危なかったがやっとなだらかな道に出たのが2時頃。あともう少し、半ば、意地になって歩いていた。道は広くなっていたのだが、ずっとくだりなので、セーブしながら歩くのは結構大変だ。途中マウンテンバイクに乗り、猛スピードで降りてくる若者もいる。やっと舗装された道に出てほっとする。しばらくして、カフェがあつたので、トイレ休憩。コーヒー（1人3.7スイスフラン）でやっと一息ついた。さらに30分歩いて、ロープーウェーの登り口に到着。町の中心部までは後少し。ほんとに良く歩いた。登山電車の入口まで、戻ってきて、「往復買ったけど下りは歩いた」というと、8フラン手数料取られたけど戻ってきた。よかった、言ってみるものだ



看板にあった写真



実際の写真（マッターホルンは雲の中）

ヨーロッパの駅はほとんど改札がありません。でもここはちゃんと改札があったので、それがよかったです。実は上の駅でも「帰りは歩くから、払い戻してくれ」と言ったのですが、「4～5時間もかかりますよ。ほんとに歩くの？」といわれ、あきらめていたのです。でもほんとに5時間かかったよーーー。しかも私はトレッキングシューズなどではなく、ふつうの靴だったので、よくやった。よくやった。戻ってきた41 フランで晩ご飯を奮発した。

ラムの肉、ポテトグラタンのコース（パンがつく）。さらにビール、ワイン、グリーンサラダ。（56.5 フラン）1人前とサラダで十分というのに慣れてきた。



山のホテルで買ったマッターホルン型のチョコ



だんだん険しくなった山道



やっと見えてきた人家



ルツェルンの遠景

9／4 (木) 雨のち曇り

ホテルの車で、駅まで送ってもらう。

MGB 鉄道

ICE

ツェルマット→ フィスプ → スピーツ →	インターラーケンオスト →ルツェルン
8時39分発 9時57分発 10時24分発	10時57分発 13時4分着

いっぱい乗り換えました。ルツェルンの駅はとても大きな駅。ホテルは歩いて2, 3分のところにありました。中はちょっとがっかり。バスタブはなく、ジャグジーシャワー（旨く使えなかった）。ベッドルームのすぐ前にあって、ドアではなく磨りガラスの引き戸。どういうわけかランニングマシーンがある。



車窓の風景

一休みして、湖に出て、船に乗る。フィツツナウまで約1時間、コーヒーブレイクしながら、のんびりと過ごす。ケーキがおいしかったけれど高かった。(大きいので、2人で1個) リギ山にのぼりたかったけれど雲が出ていたので次の船で戻った。<ライオン記念碑>のところまで、10分ほど歩く。想像していたよりずっと大きかった。近くでピザの夕食(やはり大きいので、2人で1個) 中学生ぐらいの子供が団体で来ていた。少し戻ったところで、ムーゼック城壁をつけ、結局そこを歩いて、さらに駅地のスーパーで、飲み物を買ってホテルへ、戻った。8時過ぎ暗くなつた。



ライオン記念碑 (ルツェルン)



ムーゼック城壁 (ルツェルン)



フィツツナウの駅



フィツツナウ：リギ山登山鉄道の転車台



ホテルからみたピラトゥス (ルツェルン)

9／5 (金) 晴れ

ルツェルン→アルプトルフ → アルプシュタット→ピラトゥス

8時25分発 8時50分発

ピラトゥスをめざす。ここは、前回ロマンチック街道とスイスのツアーで行った時、自由行動の日に行こうと思ったのだが、インターラーケンからでは、適当な電車がなく、無理だといわれていたので、是非行ってみたかったところだ。世界一急勾配の電車で行くのだ。しかも名前からわかるようにキリストを処刑宣告したあのポンテオピラトの亡靈ができるといわれていたのだ。日本ピラタスロープエーといえば八ヶ岳山麓にもあるし。適当な電車がなかったので、アルプトルフまで行ってもどることにして乗り込む



ルツェルン湖とピラトゥス



ピラトゥスケーブル



ケーブルカーで一緒になったイギリスはウェールズのカップル（学生さんです）



ピラトゥス山頂



ケーブルが到着するとホルンを演奏



下に見えるのはルツェルン湖

車掌さんに聞くと20分ぐらいで着き、5分待ちでアルプシュタットに着くと教えてくれた。車掌さんの言うとおり、8時25分発のローカル電車に乗り、到着。ピラトゥスのケーブルは8時50分発。見覚えのある駅だ。例のツアーの時バスで通過している。トイレ休憩したかもしれない。

スロバキアの団体さんと隣にすわったのは、UK（イギリスはウェールズ）のカップル。30分で到着あまりに急なケーブルで、びっくり。こわかったけど景色は最高だった。アイガー、ユングフラウもみえた。しばし絶景にみとれる。帰りはロープエーを乗り継いで、麓へ降りバス乗り場まで7、8分歩き大きな通りで、一番のバスに乗り戻った。ちょうど来たバスだったので、切符を買う間もなく、またまた無賃乗車してしまいました。これが逆コースなら、バスから、ロープエーまで、登り坂を歩くことになり、ちょっと大変だったかも、もちろん逆コースで、山に行く人にも出会いました。



悪魔の橋（ザンクト・ゴッタルド峠付近）



氷河急行からの眺め

MGB 鉄道 氷河急行
ルツェルン→ゲッシェネン→アンデルマット→ディセンティス → クール→タルヴィル→ルツェルン
14時30分発 15時45分発 17時16分発 18時45分発

午後からの予定はしてなかったけど、時間があったので、アンデルマットまで行ってみることにした。インフォで、何時が有るか聞いてみた。ゲッシェネンで乗り換える。そこから、アンデルマットまでは、ツェルマット行きに乗った電車と同じ会社となる。電車から、<悪魔の橋>を見ることが出来た。ゆっくり走ってくれていたようだ。検札が来なかつたので、薩摩守となってしまった。氷河特急のコースを通って帰ることにして、駅でコースを教えて貰う。さらに切符をディセンティスまで29フランで買った。ここから先はユーレイルパスでOK。

この駅で、おそらくこれから、氷河特急に乗るであろう、日本人ツアー客を見ました。また、ホームで、待っているときにも氷河特急が入ってきました。けちな私達は特急ではなく、14時30分発の急行で、でもコースは同じです。景色はとてもすばらしい。ディセンティスで乗り換えかと思っていたら、実はここで、スイス国鉄と車両をドッキングするのだということがわかった。それで、車両を1等車に変えた。そして、クールまで、ここは大きな駅で、地下にお店があり、サンドイッチ、飲み物を買った。珍しくコーヒーの自販機があったので買ってみることにした。2.7フラン。おつりが飛んで落ちた。食堂車に乗るつもりがまたまたこれで夕食をすませてしまう。タルヴィルでチューリッヒから来た電車に乗り換えた。大きな電車で、車掌さんは切符チェックのほかにどこから来てどこへ行くのかと尋ね、何やら、入力していた。やっと19時25分、ルツェルンに到着、地下で、少し飲み物を買って戻る。長い1日だった。



ルツェルンのカペル橋



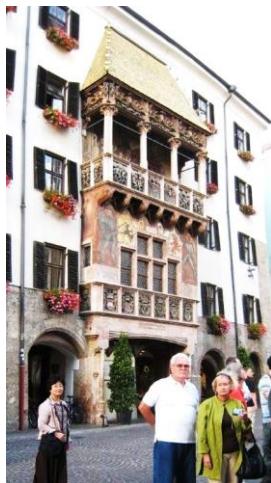
インスブルックへの車内で犬を抱いた御婦人



ランデック駅で下車

9／6（土） 晴れ EC
ルツェルン → チューリッヒ → インスブルック
8時35分発 9時40分発 13時26分着

チューリッヒの駅も大きな駅で、キオスクがあり、飲み物を買いインスブルック行きにのった。1等車はどうやら、指定席だったようだ。小さな犬を連れた人もいた。我々が座った席はたまたま予約がなかったようで、車掌さんがきてもなにもいわれなかつた。よくみると座席番号のところに何かはつてあった所が、予約席だったようだ。車窓はとてもすばらしい。スワロフスキーワールドがあるのを「地球の歩き方」で、見つけ行くことにした。インフォで、まずインスブルックカード（25ユーロ）を買い、スワロフスキー行きのバスは最終で3時発といわれる。ホテルに荷物を置いてからでも大丈夫なので、まずホテルのあるマルクト広場まで3番のトラムで行く。駅に戻るのはバスやトラムではむづかしいので、歩けといわれ、行き方を教えてもらって、10分歩く



黄金の小屋根



イン川のほとり：インスブルックの町並



スワロスキーエクリスタルワールド

駅ではなかなかスワロ行きのバス乗り場がわからない、インフォでもういちど教えて貰うがなかなかわからない。よくみるとあの入口の＜噴水の絵＞が書いてあるのがそうだった。大型バスで、高速道路を通り30分でやっと着いた。帰りは17時半のバス。インスブルックカードで、入れるとあったが、チェックすることが出来ない。そばの人が教えてくれた。このカードを見せて、切符をもらうのだ。中はクリスタルアートの傑作でなかなかユニークだった。コースの最後はスワロのお店で、ビーズも売っていました。

いっぱい置いてあったけど、ユーロ高なので、そんなに安いとは思わなかった。なぜなかなかバス乗り場がみつからなかったのかと考えていたが、私は、スワロフスキーが頭にあったので、スワロ、スワロと思って探していたけど、バス停を見ると、KRISTALLWELFENとあったからではないかと。Sではなく、Kだったのだ。ホテルは川の前にあり、とっても便利なところにあった。トイレとバスは別の部屋なので、うれしい。すぐそばが旧市街で、黄金の小屋根などを見る。食事は中世風の城館内レストラン＜オットープルク＞で、ヌードルスープ、ポテトスープ、サラダ、パンが付く。バター（2種類）がとてもおいしい。ビール、ワインで19,5ユーロ。久しぶりにスープを食べたがおいしかった。



レストラン オットープルク

9／7 (日) 雨

インスブルック→ウィーン

9時30分発 14時18分着

雨なので、インスブルック市内午前中見学をあきらめすぐ移動することにした。肌寒い。インスブルックカードがもったいないので、タクシーではなく、バスを教えてもらうと、道路を渡ったところのマルクトで、ハウプトバンホフ（中央駅）行きに乗ればいいといわれた。昨日はややこしいから歩けと言われたのだけど、全然むづかしくなかった。ウィーンは晴れて暑かった。駅でウィーンカードを買った。ホテルまではタクシーで、場所がよくわからないからだ。<アパートメントホテル ヨセフスタット>。ここだといわれてもなかなかよくわからなかった。

ホテルの入り口



玄関にベルを押せと紙が貼ってあるのだが、ベルがどこかわからない。困っていると、ちょうどタイミングよく帰って来る人がいて、此処だと教えてくれた。こんなに小さくては、わかるわけがないとぶつぶついながら、ベルを押すと4桁の番号をいわれる。それを一生懸命覚えて、まず玄関に入った。次に電話のようのが有り、言われた番号を入力しキーBOXを開けて、中に入っているキーを取り、やっと部屋の入口にたどり着くがなかなか部屋のドアがあかず、あせる。やっと入れて、一安心。この間もちろん English。

ホテルのすぐそばにトラムの乗り場があり、44番、43番でショッテントーアまで行き、1番のリングカイリングに乗り、旧市街を一周してみる。夕方になるといっさく涼しくなった。ホテル近くにスーパーがあり、夕食の買い物をしようと思ったら、日曜で、6時で閉まっていた。仕方なく、ショッテントーアまで戻って、駅地下でパンとビールを購入し、ホテルにもどった。夜は雨がふっていた。



シェーンブルン



ホテルの部屋

9／8 (月) 曇りのち晴れ

トラム

地下鉄

スコーダガッセ→アルザーストラッセ→ランゲルフェルトストラッセ→シェーンブルン

部屋に「翌日の朝9時から、12時の間にレセプションにくるように」とのメモが置いてあった。とにかくまだホテルの人には会っていない。9時ちょうどにレセプションに行くとすでに先客があった。しかしホテルの人はまだ来ていない。その先客に10分待てといわれる。

しばらくすると2人（男、女）が来て受け付けと支払いをすませることができた。帰る時は9時前なら、キーをボックスにいれておくように言われた。前と同じだ。今日はシェーンブルン宮殿をめざす。地下鉄に行くトラムの番号を聞くと反対側の乗り場から43番で、2つ目アルザーストラッセで降りる。地下鉄といってもその辺りは地上を走っている。



グロリエッテ



6番でランゲルフェルトストラッセまで行って反対側のホームで4番に乗り換え2つ目がシェーンブルン。とてもわかりやすい。ウィーンカードの割り引きで、1人14ユーロ。団体客が多くいたのでまずグロリエッテまで歩き、庭を眺める。バスが走っていることを知り、近くのティーアガルテン（動物園）乗り場で待つことにする。また、割引券が入っていたので、そばのお店でオムレット、スチュードプラム4, 7ユーロ。オムレツとプラムのシチュー？と思ったら、パンケーキの切ったの（これはウィーン名物）とプラムジャムでした。でもすごく量が多くてこれがお昼となった。バスに乗って宮殿の入口に戻り、見学する。日本語の案内の無料イヤホン有り。「豪華さ」からいうとやはりヴェルサイユにはかなわないかな。建物の中は有料だが、庭は普通に入れるようで、ジョギングしている人など見かけた。こんなすばらしいところが公園なんて、ウィーンはやはりすごい。うらやましい。帰りはスーパーで買い物をして帰る。夜8時、暗くなつてから、トラムのリングカイリングの2番で、ライトアップされた名所を見て帰る。このぐらいの時間でないと暗くならない。



シェーンブルン宮殿の東側の庭



ウィーン名物のオムレツ

9／9 (火) 快晴

トランでオペラ座まで行き、そこから、シュテファン寺院まで歩く。この間の道（ケルントナー通り）は、ブランド品やらお土産屋さんの並ぶ大きな通りだが、現在工事中。7～8分歩くと教会があつた（3ユーロ）。祭壇は割合シンプル。塔の上にあがるエレベーターは受付のおじさんがいっしょに乗り、中で料金を払う。2人で、9, 5ユーロ。塔の上から、ウィーンの市内がよく見えた。また教会の屋根にあるワシの模様も見えた。そこで日本人男女2人組に出会う。熱気球の大会にでるので、車でむかう途中とか。降りてきて、モーツアルトの葬式の記念レリーフも見た。次に王宮まで歩く。ここはほとんどが、シシィ（皇妃エリザベート）の記念のもの。

公園へ出て、モーツアルト像を見る。昼はリングの通りにあるレストランでワインナーシュニツェル、サラダ9, 5ユーロ。ピザ6, 5ユーロの看板にひかれたのだが、結局9, 9ユーロのものを頼んでしまった。量が多くて大変だった



シュテファン寺院

午後は美術史博物館へ。ラファエロの<草原の聖母>ファン・ダイク、フェルメール、ルーベンス、ブリューゲルの<バベルの塔>など。素晴らしい絵がいっぱい。日本の女子大生のツアーとおぼしき団体客が日本人男性の先生と思われる人の説明をうけていたので、盗み聞き。朝から博物館、美術館のはしごで疲れ、ドナウ川まで、地下鉄に乗って見に行く。しかし、ちょっとがっかり。町の中にあるから、仕方がないか。すぐ戻った。



美術史博物館 (クリムトの壁画がいっぱい)



バベルの塔を模写する人



フェルメール (絵画芸術)



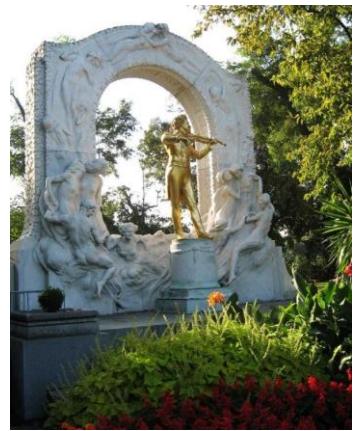
ベラスケス (マルガリータ)



ブリューゲル (雪中の狩人)



ベートーベン



シュトラウス



モーツアルト



市立公園入り口の花屋さん

9／10 (水) 快晴

トラムでシュトゥーベントーアへ、市立公園はここで降りる。シューベルト、ブルックナー、シュトラウスの像を見て、シュバルツェンベルグラッツから、トラムに乗ってブルク門に戻り、スイス門をめざす。途中の中庭で、どうやら要人が来るらしく閲兵式があり、しばらく見学する。王宮宝物館では豪華絢爛な王冠などをみる。フォルクス庭園はバラがみごとで、シシィの像もあった。向かいの国会議事堂へ、さらに市庁舎前の庭で、ランチ。大型の屋台がいっぱいしていて、パエリア、焼きそば？カレー？を売っていた。パエリアといつてもやはり量が多いので、2人で1人前、ビール、リンゴ入りアルコール飲料で14, 4ユーロ。



パエリア



閲兵式

そこから、トラムでオペラ座に戻り、ケルントナー通りで、お土産を買う。ザッハトルテが食べたかったけど、結局スター・バックスに入って、チョコレートケーキにした。まだまだ昼は暑く、日影を選んで歩いた。これで、長い旅も全部終了。明日は日本へ帰る。



フォルクス庭園



ブルク劇場



オペラ座



マリアテレジア像



オーストリア帝国王冠



神聖ローマ帝国皇帝の王冠



ハプスブルク家の王宮宝物館の財宝



市庁舎前



王宮



市庁舎



ウィーン空港

9／11 (木) 晴れ

言われた通り、鍵をキーボックスに入れてホテルを出発。すぐ前にタクシー乗り場があるので、そこから、タクシーでウィーンミッテ駅へ。辺りは工事中で、地下鉄の乗り場はわかりにくかった。やっとエレベーター乗り場を見つけたあとは、地下鉄で空港駅まで。BA でロンドン経由成田行き。ロンドンヒースロー空港は新しくなって、大きくとても綺麗な空港だった。日本人客が多かったけど、我々の隣は、チェコのお嬢さんで、日本でアートを勉強するために留学するのだという。楽しくおしゃべりしながら、過ごした。帰国。ほっとすると同時に「ああやはり、日本は暑いなあ。」これで長い旅は終わりと思ったら、今回はおまけがつきました。何？

車に乗って、高速に入るのだが、この分かれ道の手前で、渋滞情報が出ていて、それに気を取られている内に間違って、高速に入れず、成田市内へ行ってしまった。気をとりなおして、次の高速の入口から入ろうとしばらく走って入口をつけ、やれやれと思っていたら、後ろから、救急車のサイレン。よけようと思ったら、なんと高速入口へまで追いかけてくるのだ。家の車は ETC は付いてないからと思って安心していたら、まだ後ろから、来るので。仕方無く左へよけたつもりがなんと、空港方面に入ってしまい、とうとう空港へ、逆戻り。結局空港入口で訳を言って門を開けてもらい、振り出しにもどつて、やっと帰ることができました。 END